

令和5年12月7日（木）午後2時

大阪広域水道企業団

河南水道センター

電 話 0721-93-2500

F A X 0721-93-4691

「水道スマートメーター」実証実験の開始について

当企業団では、「経営戦略2020-2029」においてDX（業務・サービスの変革と新たな価値の創出）をめざす取組みの1つとして、スマートメーターの導入に向けた検討を進めることとしています。

この度、河南町の一部地域において、情報通信技術（ICT）を活用した水道スマートメーターの実証実験を下記のとおり開始しましたので、お知らせします。

記

1 概要

今回の実証実験は、関西水道用品株式会社と共同で、河南町の一部地域においてAMR方式（水道スマートメーターから発する無線電波を、検針員がスマートフォンで受信する方式）による使用水量データの自動検針を行います。

本実証実験は、従来の目視検針に比べて、無線通信により遠隔から検針作業が可能であり、作業時間の短縮など効率性の向上が見込まれます。また、日々の水量データを取得することで、漏水発生の日時を把握することも可能となります。

2 目的

- （1）定期的な計測による機器の通信状況と信頼性の確認
（メーターの目視による読み値と遠隔検針による水量データの比較など）
- （2）現在の水道メーターとの費用対効果の検証
（メーター設置費等導入費用、維持管理費、検針費用など）

3 実施期間等

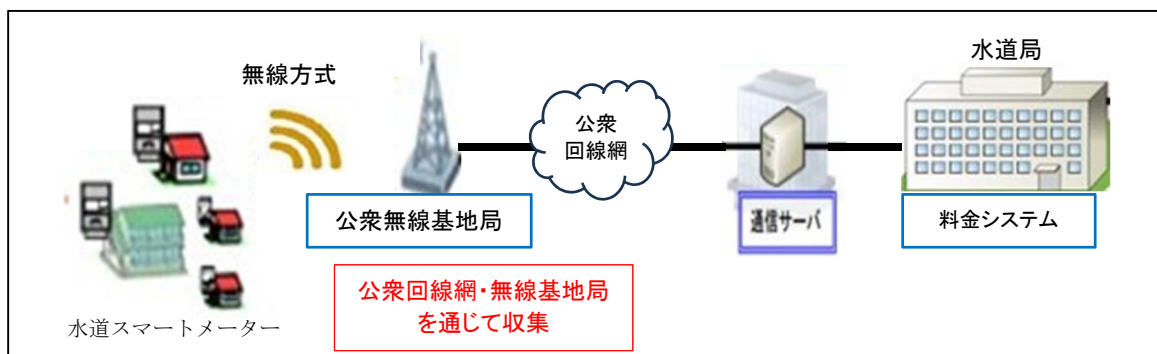
- （1）期 間：令和5年10月～令和6年9月（約1年間） ※令和5年12月から運用開始
- （2）対象戸数：約150戸（山間部：約40戸、住宅地：約110戸）

<参考>

水道スマートメーターのシステム構成 <AMR方式>
【今回の実証実験】



水道スマートメーターのシステム構成 <AMI方式>



※スマートメーターは、AMI方式（公衆回線網を通じて水量データを収集する方式）が一般的ですが、無線通信が困難な地区への対策が課題です。

水道スマートメーターの写真

